

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. ルール、手順に基づく業務管理
 - (1)収入の確保について
 - ・現状の業務を見直した上で職員の適正配置を検討しつつ、府中市との協議に臨む。
 - (2)利用者の信頼・安心について
 - ・利用者の「きてよかったね」につながる適切な対応に努める。
 - ・安心・安全を保証する環境作りに取り組む。
 - (3)職員の自信と誇りの回復について
 - ・法人の理念をふまえ、地域の中で社会福祉法人としての役割を果たす。
 - ・適切なリスク管理・丁寧な対応をすることで、職員の自信につなげる。
2. 各事業、施設としてのサービスの向上
 - (1)ひとりひとりの利用者の「きてよかったね」に向けて
 - ・スタッフ同士による意見交換や啓発、上級職員による OJT や外部研修・施設見学を通して、「見守り」「声かけ」「傾聴」のスキルを高める。
 - ・虐待予防を念頭においた相談体制の再構築のため、府中市と役割分担などについて協議をする。
 - ・講座・交流会の見直しに取り組む。
 - (2)利用者ニーズへの対応に向けて
 - ・地域資源を活用した「出張ひろば」や異世代交流を目的とした事業実施を検討する。
 - ・ボランティアや職業体験の受け入れを積極的に行い、あわせて行事などの充実を図る。
 - ・身近な保健相談の場にもなっている、看護師や相談員（社会福祉士・臨床心理士）による「身体測定」の平日毎日実施に向け、検討する。
3. リスク管理
 - (1)防災
 - ・毎月防災訓練を実施する。その中で、ひろばを中心とした利用者参加型避難訓練を実施する。
 - (2)感染症対策・事故予防
 - ・感染症関連の情報収集に努め、あわせて利用者への啓発を図る。
 - ・安全対策の整備（設備自主点検の強化、救命講習への職員参加など）に取り組む。
4. 建物管理
 - ・市の管理建物であり、改修、改築に深く携わることはないが、リスク管理の観点から、要改善箇所は責任をもって管理者（府中市）に伝えていく。

施設の取組

- ・市民のための子育て支援事業として、職員1人1人が自覚と責任を持って取り組む。
- ・府中市の条例・要綱、法人の規程・規則などの正しい理解に努め、法令遵守に基づいた業務管理を行う。
- ・府中市の子ども・子育て新制度策定に向けての動きを把握する。
- ・計画的な予算執行をするために、予算策定から決算までの流れや施設の財務状況について職員が一定の理解をできるように取り組む。
- ・利用者対応のスキルアップを目的とした研修実施・参加に積極的に取り組む。
- ・防災体制について府中市も交えて検討し、職員のさらなる意識向上を図る。